

環境啓発施設 「くさつエコスタイルプラザ」



草津市環境経済部 ながはら ちようご
くさつエコスタイルプラザ 館長 永原 長吾

環境啓発施設「くさつエコスタイルプラザ」は、2018（平成30）年3月、草津市立クリーンセンターの建替えと同時に、その施設内に誕生しました。「くさつエコスタイルプラザ」は、再生可能エネルギーである廃棄物発電（バイオマス発電）、太陽光発電、地中熱や雨水を利用しており、地球温暖化対策、資源循環社会の構築、さらには環境学習社会づくりを進めていく施設として設置されています。

◇「くさつエコスタイルプラザ」の事業概要

「くさつエコスタイルプラザ」は、ごみ処理過程の見学や、地球温暖化対策・資源循環社会の構築・環境学習社会づくりに資する、市や環境関連団体が主催するイベントの開催、ワークショップの開催、啓発パネルなどの常時展示、環境学習の教材貸出、講師派遣など、さまざまな支援を行っており、年間約6,000人の方に利用いただいています。事業の詳細は、次のとおりです。

●ごみ処理過程の見学

ごみの排出状況や処理過程、ごみの焼却に伴って生じる熱を利用した発電の仕組みを伝え、限りある資源を有効活用し、環境を守る取り組みにつなげていただくことなどを目的に見学を行っています。

見学では、ごみ収集車がピットにごみを入れる様子やそのごみピットの内部、さらにはごみピットでクレーンがごみを混ぜる様子などを見ることができ、また、映像を通じて自分が焼却炉に入ったような体験、この施設での発電の仕組みの解説などを見て、体験して学べる内容となっています。

●草津市子ども環境会議

市内の小中学校や環境活動に取り組む団体などが集まり、子ども達を中心に交流やつながりの深まりなどをテーマに子どもと大人が環境について議論し合い、日頃の環境活動の成果を発表する場です。

2019（令和元）年度は、当施設の円周である見学コースに100を超える団体の展示ブースが設けられ、自由にブースをまわって交流できる「エコ活動取材ラリー」や参加者全員でテーマに沿って話し合う「こどもと大人の環境井戸端会議」などのプログラムを行いました。草津市子ども環境会議は、毎年1月末頃に行われる予定ですが、2020（令和2）年度は残念ながら、コロナ禍のため見送りになりました。



写真1 草津市子ども環境会議

●リサイクルフェア草津

ごみの減量と限りある資源の有効利用などについて、楽しみながら学べるイベントです。

ごみの減量について家族で考えるきっかけとなるようなリサイクル工作のブースや、パッカー車への模擬ごみの投入、普段は見られないバックヤードの見学ツアーなど、施設全体にさまざまな体験や展示が散りばめられ、参加者の中には、すべてのブースを制覇することに意気込む子どもの姿がみられます。市民団体である「ごみ問題を考える草津市民会議」や市内の環境団体などが協力して運営し、市内外からおよそ1,000人が訪れるイベントですが、2020（令和2）年度はコロナ禍のため、中止となりました。

●講座・ワークショップ

環境やごみに関する講座や体験を通じて、知識を深め、行動につなげることを目的に、ごみ処理過程の見学者や希望者を対象としたワークショップを開催しています。ふるしき講座、エコバッグ作り、みずすまし実験など、身近な環境の大切さを感じてもらえるようなメニューを展開しており、町内会や小学校などから利用があります。

●展示啓発

ごみや環境について考えてもらう仕掛



写真2 みずすまし実験

けとして、食品ロス、ごみの分別、地球温暖化対策など、テーマ別の展示を行っています。特に、くさつエコスタイルコンテスト子ども部門（市内在住の小学校4年生から6年生を対象に、個人や家族で取り組んだ地球温暖化対策に関する絵日記を募集する事業）の応募作品約1,500点の展示は必見で、子どもならではのアイデアに驚かされます。

●環境学習の教材貸出、講師派遣

住んでいる地域の良さや恵まれた環境を感じることを後押しするため、学校、地域、企業、団体が環境に関わる講座やイベントを開催する際に、パネルや実験機器などの教材の貸出と、専門的な知識と経験をもった講師の派遣を行っています。

教材や講師によって、講座やイベントに深みが増すことで、参加者が環境を守ることの大切さに気づき、考え、行動することにつながると考えています。

◇環境に関する情報の発信

当施設に環境に関する情報発信コーナーを設けるとともに、市のホームページ、広報紙において情報発信を行うことで、ごみや環境について考えるきっかけづくりを進めています。

◇今後について

ごみの排出状況、限りある資源や環境を守る取り組みについて、当施設で行っているイベントや講座などで知っていたき、ここで得た知識などを家庭、企業、学校などで伝え、自分たちができることを見つけ出し、行動に移していけるよう、これからも情報発信やイベント内容などの充実に尽力していきます。